

平成29年度 課題研究

教科（科目）	工業（課題研究）	学科（コース）・学年	建築科（建築コース）・3学年
使用教科書			
副教材等			
履修単位（時間）	3単位（105時間）	履修条件	必修

1. 学習目標

<p>工業に関する課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して専門知識・技術の深化及び総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を養う。</p>
--

2. 指導の重点

<p>○工業に関する基礎的・基本的な学習の上に立って、工業に関する課題を生徒自らが設定し、課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決に向けて意欲的に取り組む自発的、創造的な学習態度を育て、その能力を養う。 ○生徒自らが工業に関するテーマを設定し、計画を立て、製作や調査・研究などを行い、結果を整理・発表し、研究を深めさせるとともに、自分で課題を見付け、自ら学び自ら考え主体的に判断し、問題をよりよく解決する資質や能力を育成する。</p>

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1 学期 2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・班分け ・各課題研究 ・建築科（建築コース）課題研究発表会 	<p>・課題研究について理解させ、テーマについて考えさせる。 研究テーマを通じて自己のあり方を考えさせ、専門教科の研究を深めることで将来の生き方を探求させる。</p> <p>それぞれのテーマに基づき作業を進め専門分野の知識・技術を深める。</p> <p>・建築コースの2年生を対象に各テーマ毎に研究内容を発表する（2年生は次年度の参考に）。</p>	<p>調整により決まったテーマについて希望を取り、実施テーマを決定する。</p> <p>テーマに対し、興味関心を深め意欲的に取り組めたか。</p> <p>プレゼンテーション技術の向上を図る。</p>
3 学期	校内課題研究発表会	クラス代表として全校生徒を対象に発表する。建築系の専門分野について広く科以外に紹介する。	プレゼンテーション技術の向上を図る。

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
<p>[評価基準] 課題研究に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。</p> <p>[評価方法] 学習活動の観察、課題作品の製作状況等から、生徒の取組状況を多面的に評価する。</p>	<p>[評価基準] 課題研究に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>[評価方法] 思考・判断した過程や結果の説明などから、思考・判断の過程と結果、充実した言語活動のものを適切に表現できるかを多面的に評価する。</p>	<p>[評価基準] 課題研究に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。</p> <p>[評価方法] 研究内容をまとめる能力、分かりやすくプレゼンテーションをする技能など、多面的に評価する。</p>	<p>[評価基準] 課題研究に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。</p> <p>[評価方法] 各テーマにおいて、実験データや作品提出等から生徒の実現状況多面的に評価する。</p>

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

終了後の後片付けも作業の一部であることを十分自覚し、丁寧に片付ける。
 これまで学んだ専門知識をいかして目標を見失わず意欲的に取り組んでほしい。
 課題に対して魅力的な提案ができるよう、アイデアと表現力を身に付けてもらいたい。